

計画的な人生を 親子で考える 教育資金

民主党のマニフェストには、「子供には中学を卒業するまで1年間31万2千円を支給する、また、高校は実質、無償化する」と記載されています。政権交代が現実のものとなり、今後の政治運営によってはライフプランにおける各項目のコスト構造が多少、変動していきそうです。それにしても、教育資金は住宅資金や老後資金と比肩する大きくかつ重要な項目であることに変わりはないと思われれます。

子供に何を残すのか？ 裸一貫で築き上げた財産、もしくは

子供に何を残すのか？ 裸一貫で築き上げた財産、もしくは

先祖父代々、受け継いできた財産を子供に残してあげたい。そのことはもちろん重要なことですが、それが、それと同様に、も

先祖父代々、受け継いできた財産を子供に残してあげたい。そのことはもちろん重要なことですが、それが、それと同様に、も

先祖父代々、受け継いできた財産を子供に残してあげたい。そのことはもちろん重要なことですが、それが、それと同様に、も

学校教育をめぐる変化 — 少子高齢化と高い進学率 —

昨今、少子高齢化が加速し、ついに大学全入時代を迎える

イト等の収入を差し引いた、親の負担額であります。

これらのデータから計算すると、幼稚園から大学まで全て公立で、自宅通学で通した場合、学校教育費の総額は約850万円となります。反面、全て私立で、大学はアパート住まいにした場合は、約2500万円となります。また塾や予備校は、どこまでお金を掛けるかで大きな費用の幅がありますし、大学は学科によってかかる費用が大きく変わってきます。大学卒業までにかかる学校教育費は子供1人につき800万円から3000万円くらい（医科、歯科系は更に高額になる場合が多い）といえそうです。

教育資金と ライフプラン表

【表2】は、ある家庭で必要となる教育資金のシミュレーションです。2人の子供たちは大変優秀で、留年も浪人も一切しないという条件でのシミュ

レーションです。それでも父親が50歳前後で、かなりの出費が必要となります。

子供にはできるだけだけのことはしてあげたい一方で、老後は子供をあてにしないとと思っている親は少なくないでしょう。子供の世話にならず、経済的に自立するためには、充分な老後資金が必要となります。40歳くらいからその準備を始めなくてはなりません。40歳代は、子供が中学から高校・大学へと進学し、教育費の支出が増大する時期です。2歳、3歳違いで兄弟がいれば、1年間の教育費支出が200万円から300万円に上る年もあります。人によっては住宅ローンを抱えていたり、子供が成長して手狭になったので、家の買い替えをこの時期にしたいというケースも少なくありません。毎月毎年の決まった収入で、住宅・教育・老後の資金をやりくりするには、早い時期から準備を進めることが重要です。

標に向かうことが必要になるでしょう。

また、昨秋以降の経済危機の影響により、就職を取り巻く環境が大変厳しくなっています。就職のために、在学中から資格取得や英会話など、いわゆるダブルスクールも珍しくありません。授業料以外に必要な教育費用も、増加傾向にあります。

教育資金

— いくらかかるのか —

実際、子供の教育資金はいく

先祖代々受け継いできた財産を子供に残してあげたい。その気持ちと同様に、もしくはそれ以上に重要なのが、生涯価値ある人生をクリエイティブにできる教育ではないでしょうか。

ら必要になるのでしょうか？ 今回、幼稚園から高校までは、

ら必要になるのでしょうか？ 今回、幼稚園から高校までは、

ら必要になるのでしょうか？ 今回、幼稚園から高校までは、

【表1】 公立・私立別教育資金の目安

		幼稚園（3年）	小学校（6年）	中学校（3年）	高校（3年）	大学（4年）	
		（自宅通学）	（自宅通学）	（自宅通学）	（自宅通学）	（自宅通学）	（下宿・アパート）
公立	1年間（円）	251,324	334,134	471,752	520,503	701,900	1,389,700
	合計（円）	753,972	2,004,804	1,415,256	1,561,689	2,807,600	5,558,800
私立	1年間（円）	538,406	1,373,184	1,269,391	1,045,234	1,300,200	2,053,900
	合計（円）	1,615,218	8,239,104	3,808,173	3,135,702	5,200,800	8,215,600

※出典（幼稚園～高校）：文部科学省「子どもの学習費調査」平成18年度「学習費総額」より
※出典（大学）：日本学生支援機構「平成18年度学生生活調査結果・居住形態別収入平均額及び学生生活費の内訳（大学層問部）・「家庭からの給付」より

【表2】 教育資金とライフプラン表 ある家族で必要となる教育資金シミュレーション

		現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
父	年齢	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳
	年齢	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
母	年齢	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
	学校		幼稚園	幼稚園（私立）		小学校	小学校（公立）		中学校	中学校（公立）		
長女	教育費		幼稚園 入学	54万円/年		小学校 入学	33万円/年		中学校 入学	47万円		
	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳
長男	学校				幼稚園	幼稚園（私立）		小学校	小学校（公立）			
	教育費				幼稚園 入学	54万円/年		小学校 入学	33万円/年			
教育費合計			54万円	54万円	108万円	87万円	87万円	66万円	66万円	66万円	66万円	80万円

		11年後	12年後	13年後	14年後	15年後	16年後	17年後	18年後	19年後	20年後	21年後
父	年齢	45歳	46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳
	年齢	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳	48歳
母	年齢	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳
	学校	中学校	中学校（公立）	高校	高校（私立）		大学	大学（私立・自宅）				
長女	教育費	47万円/年		高校 入学	105万円/年		大学 入学	130万円/年				
	年齢	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳
長男	学校	小学校	中学校	中学校（公立）	高校	高校（私立）		大学	大学（公立・アパート）			
	教育費	33万円	中学校 入学	47万円/年		高校 入学	105万円/年		大学 入学	140万円/年		
教育費合計		80万円	94万円	152万円	152万円	210万円	235万円	235万円	270万円	270万円	140万円	140万円

※浪人・留年は一切していないシミュレーションです。

長女教育費合計	1,336万円	教育費合計
長男教育費合計	1,376万円	2,712万円

PROFILE

本多良美（ほんだよしみ）
1960年東京都生まれ。獨協大学経済学部卒業。法政大学大学院 経営学専攻 修士課程修了。筑波大学大学院 企業法専攻 修士課程修了。相続・事業承継対策を専門分野に、エグゼクティブファイナンシャルプランナーを務める。経営士（日本経営士会会員）。株式会社アセットマネジメント代表。

